



「ボランティア交流会」を開催しました！

3月22日（金）、「やっぱり楽しい！ボランティア」をテーマに、あそびの工房もくもく屋の田川雅規氏をお招きし、活動を続ける秘訣や仲間づくりなどについて手遊びを交えながらご講演いただきました。

市内のボランティアを取り巻く現状は、メンバーの高齢化や後継者不足など、慢性的に抱えていた課題にコロナ禍による活動制限が拍車をかけ、平成30年度末には87団体あったボランティアグループは、現在は72団体までに減少し、登録者数も減り続けています。交流会では、これまでの活動を振り返りながら、日ごろの悩みや、不安に感じていることを共有し、ボランティア活動の醍醐味や魅力を語らう場となりました。

参加者からは、「グループを解散しようと思っていたけど、やっぱり楽しい！再開しようと思う」、「肩肘張らず、自分のペースでこれからも続けていきたい」との声があり、一旦はほどけそうになったつながりを、より強く結びなおす機会となりました。



一輪の綿花から始まるつながり

「いっしょに育ててみませんか？」



広田のまちなかにある「総合衣料 玉岡屋」の道端の花壇には、夏になると綿花が弾けます。玉岡さんが息子さんたちの作業療法や園芸療法として始めた綿の栽培、今ではお友だちに輪は広がっています。

その貴重な種を分けていただけます。玉岡屋の店舗に置いてありますので、興味のある方はお立ち寄りください。（数に限りがあります）

育て方のPoint

種まき：4月～5月 開 花：7月～9月 収 穫：9月～11月





『ふれあい・いきいきサロン』はじめてみませんか？

地域の中の“気軽に集まれる集いの場”が『ふれあい・いきいきサロン』です。地域の住民だれもが気軽に集い、共に楽しい時間を共有し「生きがづくり」「仲間づくり」の輪を広げる場所です。サロンを通じ、身近な人と顔なじみの関係（つながり）ができることで、普段から支え合える地域づくりにつながり、地域の介護予防の拠点となる場所でもあります。



南あわじ市社会福祉協議会では「ふれあい・いきいきサロン」の活動助成を行っています。（共同募金配分金 年間 1 万円）立ち上げに関する相談も随時受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

二人のつぶやきから始まった集まり「水曜会」

～つぶやき拾いの効果～



丸山の魚彩カフェで「津井にも気軽にお茶を飲める場所があったらいいな」「どこかそんな場所ないかな？」そんな男性二人のつぶやきを生活支援コーディネーターが拾いました。

令和5年11月初め、津井の公民館に隣接している県民交流広場を拠点に「ふれあい・いきいきサロン」がスタートしました。

水曜会の魅力について尋ねると、「健康の話や、免許の話など役に立つ情報がもらえる」「気になることがあったら気軽に相談できる相手がいるのはいい」「毎週行く場所がある」と沢山の集いの場の効果を教えてもらいました。

現在、冷暖房の関係もあり、近くの「フローラせいだん」に場所を変えて開催しています。

元々、津井小学校があった施設の中には小学校の写真や思い出の品が飾られており、住民の方に利用してもらえるスペースとして提供していただいています。

毎週水曜日開催のサロンですが、参加者の方から「月曜日も集まろうと思うねんけどいける？」と連絡があり、増々集まる機会が増えた水曜会です。（*^^*）

